

いっぽ だより



2021年度 No. 9

はじめのいっぽ

2021年12月28日

冷え込みが厳しい12月となっています。皆様におかれましては、いかがお過ごしのことでしょうか。また、コロナウィルスが下火になり、このままいろんな活動が再開できるのかな?と思いきや、新しいオミクロン株なるものがはやり始めるなど予断を許さない状況が続いております。はじめのいっぽも気を緩めることなく予防を徹底して行こうとスタッフ一同再確認しています。皆様におかれましても、お体には充分ご留意頂き新しい年を迎えることが出来るようお祈り申し上げます。

さて12月に入り、「雪あそびができるゾ!」と、意気込んでいましたが雪がなかなか積りません。「早く降らないかなア〜」などと思っているスタッフをよそに、子どもたちは自分たちで工夫しながら外遊びを満喫しております。

いつもなら雪の下に隠れてしまう苔や野草を使い、丸太に空いた穴を利用し素敵な寄せ植えをしてくれる子や、「雪がないなら集めてこよう!」といっぽ北側に残った雪をかき集め広場まで運んでくれるお友だち、一生懸命集めた雪を使って雪合戦で大いに盛り上がりたりと、今できる事を精一杯楽しむ子どもたちを、誇りに思います。

こんなすばらしい子どもたちと一緒に、スタッフも今を大いに楽しみながら子どもたちと残り少ない2021年を過ごして行きたいと思います。



午後の活動

午後の未就学児編



小学生のお友達の中まじって、午後の幼児さんは最初の頃、緊張で固まっていたのですが、今では、はじける笑顔とダイナミックな運動、そして納得するまでの完璧な集中力。ものすごいスピードで午後のいっぽに溶け込み成長しています。学年を超えた交流が幼児さんたちを、どんどん成長させてくれているようです。



小中学生編

子どもたちのおやつ作りがブームとなっています。フレンチトーストや手打ちうどん、誕生日会のケーキ作りなどいろいろなことにチャレンジしています。

また、外では用具の片づけをお願いすると、一輪車で集めてくれたり、スコップを持ち出し整地作業を始めたり、また、先月から続くテーブル修理がいまや、くぎを打ち込む、ノコギリで最後まで切り落とす、この達成感を求めて並んで作業する姿が見られたりととても楽しそうです。自主的に動くからこそ楽しむことが出来るんだと、みんなの将来にきっと役に立つことでしょう



その他の活動



クリスマス会の演奏に向けて、木琴・鉄琴・鈴・ピアノの練習をとても根気よくがんばりました。子どもたちの冬休み前の特別なイベントに緊張感漂っています。本番がんばってね。

クリスマス当日は素敵な演奏会となりました。一人一人が緊張していても、みんながいるから一つになれる。仲間っていいね！

演奏会の後、英語を話す本物のサンタが登場！「さーて今年は何んなことが起こるかな？」と期待でいっぱいの子どもたちでした。



日々の活動



朝みんなが集まるまで、洗濯ものを上手に干してくれる子どもたち、大人が楽しんでお仕事をしているからこそ子どもたちも「わたしもやりたーい」になるんですね。時にはタオル干し競走～なんてしてみたり、子どもたちにとってお手伝いは、遊びの延長であってこそ習慣になるのだと思います。

室内でのかくれんぼでは、限られた時間の中でどこに隠れるのか瞬間的に判断しなければなりません。どこにどのように、自由な発想で子どもたちは楽しんでいます。“頭隠して尻隠さず”のことわざ通り、とってもかわいい姿を見せてくれる子どもに、ホッコリとさせて貰っています。

制作活動では、じっくりと完成をイメージしながら取り組むことが出来るようになり、頭→手→道具とスムーズに、またスピーディーにこなせるようになっていきます。

日々の積み重ねがとても大切なことを痛切に感じるひと時でした。

日ごろの散策で足腰が強くなり体力も格段についてきて、ソリすべりの坂を何度も何度も登ります。また、怖さに打ち勝つ勇気も育ち、友だちどうし引き上げあいながら歓声を上げています。



今年も大変お世話になりました。

子ども達が元気にいっばに通ってくる事が出来るのは、お父さんお母さんをはじめ、家族の方々のお陰だと思っています。

はじめのいっばの職員一同、来年もまた、“子ども達の最高の笑顔を守っていく”をモットーに頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

年末年始、事故や怪我などのないようお過ごしくださいネ。